

# ソーシャルキャピタルのジェンダー ギャップの克服と地域防災力の強化

熊本大学 伊藤洋典研究室

池崎 日南子・金城 幸作・内田 暉・小宮 唯・瀬戸 紀之

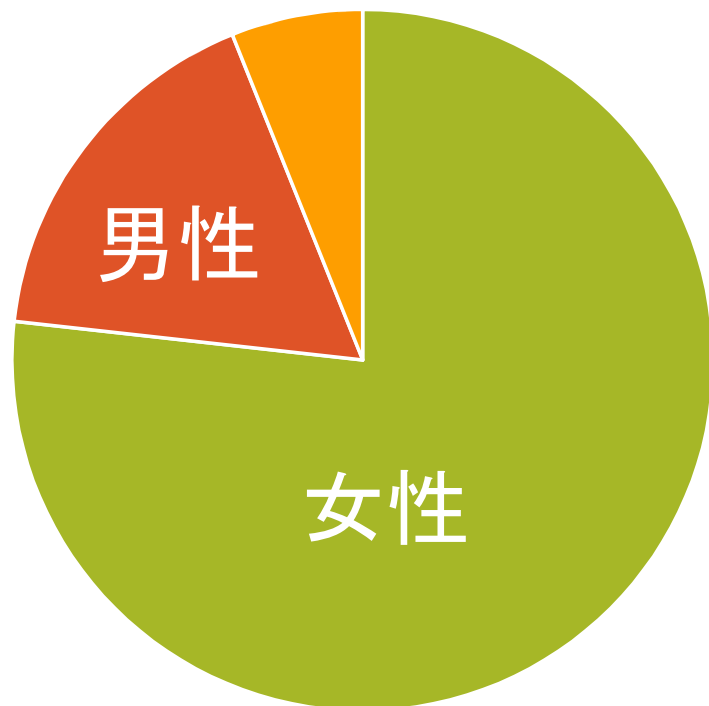
(おじさん活用術研究会)

私達が解決したい課題...

「高齢男性が地域コミュニティに  
溶け込めず孤立してしまう状態」

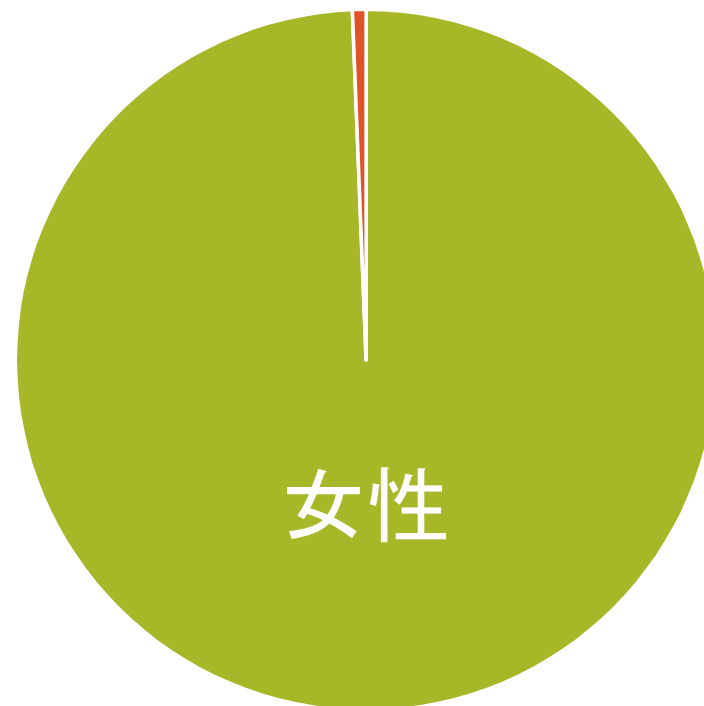
# ～ふれあいサロン調査から気付いた男女差～

参加者



■ 女性 ■ 男性 ■ 回答不詳

ボランティア

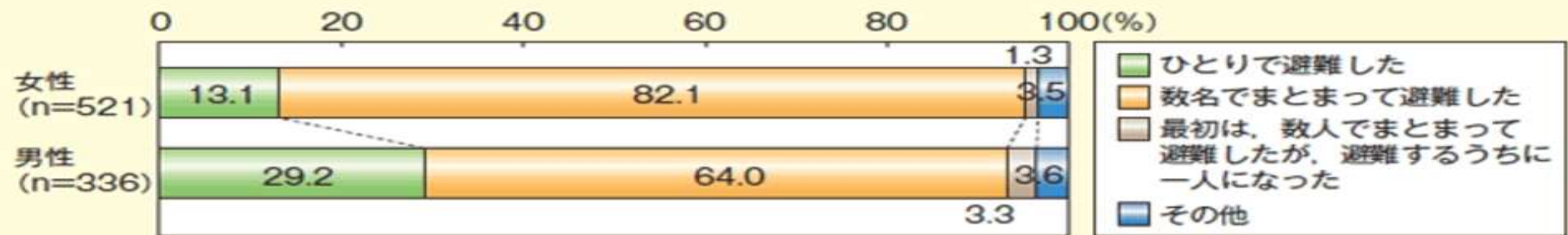


■ 女 ■ 男

## 東日本大震災死者構成比対人口構成比（倍）

	9歳以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
男性	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.9	1.4	2.3	3.3
女性	0.4	0.3	0.3	0.4	0.6	0.9	1.3	2.0	3.0

第1-特-15図 避難するとき一緒に行動した人（男女別）



- (備考)
1. 内閣府・消防庁・気象庁共同調査「津波避難等に関する調査」(平成23年)を基に、内閣府男女共同参画局による男女別集計。
  2. 調査対象は、岩手県、宮城県及び福島県の沿岸地域で県内避難をしている被災者870人(女性525人、男性345人)。調査は、仮設住宅・避難所を訪問し、面接方式で実施。
  3. 調査時期は、平成23年7月上旬から下旬。
  4. 本問の回答者は、地震後の避難行動で、「揺れがおさまった直後にすぐ避難した」、「なんらかの行動を終えて避難した」、「なんらかの行動をしている最中に津波が迫ってきた」のいずれかに回答した人である。
  5. 「その他」には、「覚えていない」、「その他」の回答者が含まれている。

「高齢男性が地域コミュニティに  
溶け込めず孤立してしまう状態」

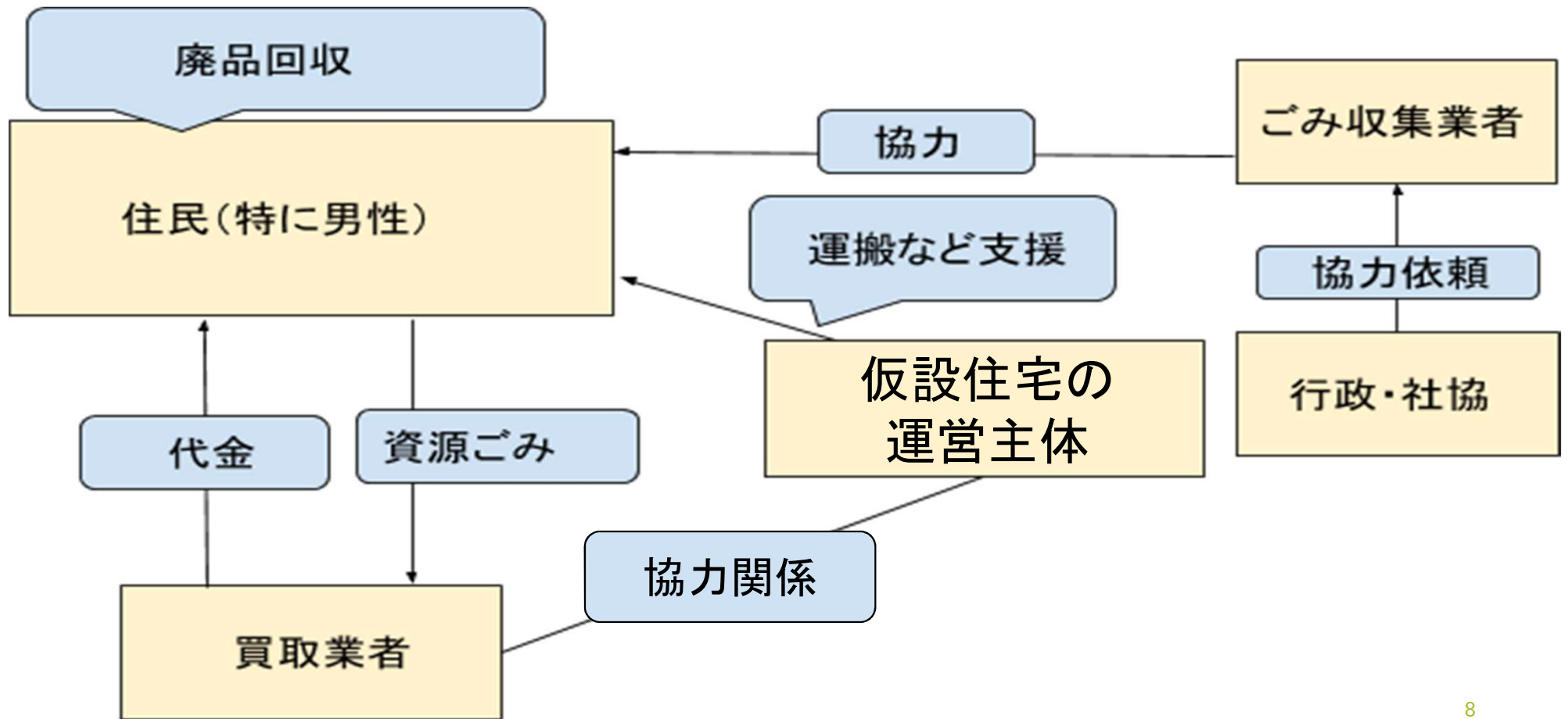
## 私達の考えるおじさん活用術

一言でいうと！

「地域住民みんなで定期的に廃品回収をやろう！  
@益城テクノ仮設団地」



# 政策の仕組み図





# 解決手段としての廃品回収

## 高齢者男性を引き込む要素

- ・ 活動の目的の明確さ
- ・ 活動の成果の明確さ
- ・ 男手が必要とされる場があること

## 活動そのもののメリット

- ・ 継続性の高さ
- ・ 地域全体への貢献性の高さ

# おじさん活用術研究会

